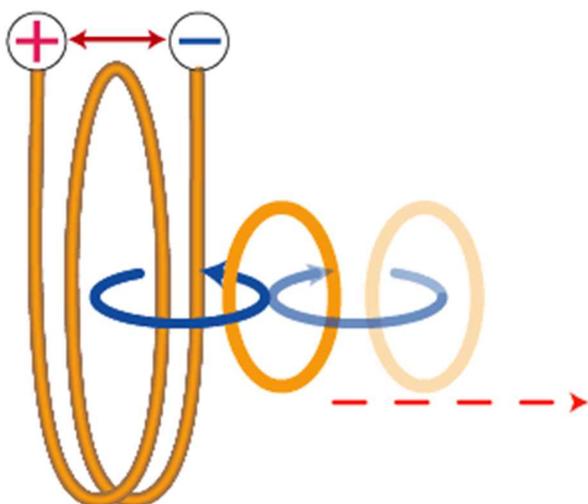


デジセイバーが発生させる電磁波について（配管材質との関係性）

デジセイバーは電磁石の動きをさせるものではありません。小学校の理科で、鉄芯にコイルを巻いた電磁石の実験をしたことがあるかと思いますが、全く異なるものです。

デジセイバーでは1/100秒ごとに周波数を変調させた電流を流します。交流のように電流の向きを変化させます。周波数が常時変わるので、電流の流れ方も常に変わる状態になります。つまり、以下のように時間的な変化が発生します。

1. 時間的に変化する電場は、時間的に変化する磁場を作る。（電場→磁場）
2. 時間的に変化する磁場は、時間的に変化する電場を作る。（磁場→電場）



つまり電場が磁場を作り、その磁場が電場を作り、そしてその電場が……、と連鎖的に繰り返し発生することになります。

そしてその連鎖的に発生する電場と磁場の変化が空間を波として伝わります。変化する電場と変化する磁場が連鎖的に空間に伝わる、これがデジセイバーにより発生させる電磁波です。

電場と磁場は、常に直角に絡んで伝播します。この動きは配管の材質を問いません。塩ビであれ鉄、ステンレスであれ、発生します。この電磁波が、流体に溶けたイオンの状態（電荷を持った状態）になっているスケール成分に影響を与えるのです。

